



善正寺だより

掲示板法話

仏法は苦悩を超えるエンジンとなる

暑中お見舞い申し上げます。そして、節電の夏、何かと我慢や忍耐を余儀なくされている皆様に重ねてお見舞い申し上げます。

ある猛暑日の夕方、まだまだ暑さの残る中お参りの方々と共に、お経を拝読中、ふとさわやかな風が通りました。「暑さの中で涼しさを感じられるとは有難いことだな」と感じ入りました。

私どものところは、本堂にエアコンもあるのですが、この夏はできるだけエアコンの使用を避けて、その代わり網戸をはめています。エアコンの冷氣に比べて、自然の風は何と心地よいものだろうか、ということを見ました。丁度その日の早朝、散歩中に出会った人と「暑い、暑いと言う度に、気温が一度ずつ下がるといいのね」と悪いくた話を言っていた自分が逆に恥ずかしくなりました。暑ければ涼しく、寒ければ暖かきょうという欲求は、現代文明にどっぷり漬かっている文明病の典型ですね。

何年か前の夏、「花は光のみでなく暗い夜もあってこそ開くのです」という標語を掲げ、夜の暗さも花開く上で意味があることを本欄で記したことがあります。電力使用制限令がかけられています。



る首都圏をはじめ、都会の夜は、今までジャブジャブと電力を使っていた頃に比べて確かに「暗いなあ」と感じます。しかし、過去の贅沢の背後で大変な無理を積み重ねていたことを痛いほど学習させられたのが、大震災・巨大津波・原発事故です。ここから我々は大きな犠牲を無駄にしない道を前向きに切り拓いていく契機にしたいと思えます。

確かに、原発事故の対応過程では明らかに初動ミスや失敗が重なり、腹立たしい感情も渦巻いています。しかし、怒るだけではどうしようもありません。こんなとき、親鸞さまはどう考え、どうなされたのでしょうか。

三十五歳の時の念仏弾圧、越後への「流罪」について「主上臣下、法に背き義に違し、怒りを成し、怨みを結ぶ」と激しい怒りを表わしました。しかし、「流罪にならなければどうして都から遠く離れた(越後)地方の人々に仏縁を結ぶことができたのだろうか?」(御伝抄・意訳)と大転換をされました。真剣なる熟慮と果敢なる転身、この親鸞聖人の生き方に学ぶところ大なるものがあります。私たちの「先祖方も危機や逆境の中で仏さまの智慧に相談し、同相互に

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:0593-31-1670
FAX:0593-32-0733

☆行事ご案内☆

☆永代経 (講師 足利孝之先生 兵庫)

8月20日(土)午後1時半・夜7時半

21日(日)午後1時半

☆お経開きは20日(土)午前10時半より
迫力満点の、全国布教同志会前会長・足利先生のおき法縁です。

◇キッズサンガ 8月6日(土)午後4時 お友達誘って来てね
毎日夕方5時の鐘撞きは誰でもOK 飴ガム付。年中無休

◇三重組コーラス 智積西勝寺様で練習
練習日は決まり次第連絡。11/8(火) 本山音楽祭参加

◇7/30(土)朝8時「お磨き」行事さんよろしくお願ひします

◇8/1~31まで1ヶ月間百五銀行阿倉川支店ロビーで『善正寺門徒展』開催 住職や門徒さんの写真、絵、茶碗など出品

☆9/18(日)「追悼法要」午前10時 物故者・午後1時戦没者
主催・小杉町仏教会 講師貴島信行先生(大阪)

◇一縁会テレホン法話059・354・14543分間法話聞けます

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。「つれづれ日記」が好評
長男もブログに参加、3年で4万6千アクセス達成! 平均80以上の訪問(1日)に感謝! HPからのメール、悩み相談など大歓迎!

※10月15日(土)京都西本願寺親鸞聖人750回大遠忌法要
バス参拝(50名)定員になり次第締め切り。3人分席あり。費用8千円を添えてお早めにお申しこみ下さい。宗祖讃仰作法音楽法要でお勤め。住職、若院が揃って僧侶として出勤。

に寄り添いながら、ピンチを乗り越えていかれたのだと思います。
辛いとき、悲しいとき、仏前に座りましょう。懐かしい亡きご先祖方の後姿が浮んできます。そして、「一人いて悲しいときは二人と思っべし。二人いて悲しいときは三人と思っべし。その一人は親鸞なり!」……。
「仏法は苦悩を超えるエンジンとなる」、教えは人生を生きるエネルギーになるのです。
☆「大乘」八月号の「法話アーカイブス」に住職著『隋縁つれづれ 春夏秋冬』(本願寺出版社刊、2005年初版、2006年3刷)の一部が掲載されます。皆様お読み下さい。今も同書発売中!



7/7:名古屋別院・音楽祭

蓮の花に心洗われる夏!

坊守スケッチ

心のストライクゾーンを大きく



夕方五時の鐘撞きが終わって、一時間ほど過ぎてても周囲はまだ明るい。境内から子供の声がある。「誰だろう?」と見に行くと、三人の子供が建築中の足場に乗って遊んでいる。危ないので注意すると、隠れてしまった。一番小さい子供だけが、「ごめんなさいと出てきた。女兒は「何もしてない」とウソをつく。男児は依然として隠れている。

「夕食時だから早く帰りなさい。家の人が待っているよ」と言っても無視。「帰っても誰もいない。誰も心配なんかしてないよ」と言う。仕方なく二人が乗ってきた自転車を道路際に出して、門扉を閉めようとした途端、二台の自転車が傾斜で倒れた。「ああ、ママが買ってくれた大事な自転車を壊した。どうしてくれる?」と女兒がすごむ。「さっき誰も心配してないといつたのに、ママが買ってくれた自転車はそれほど大事なものの?倒れただけで何も壊れてないよ」となだめてもブツブツ言っている。夕食時になっても待つ人がいない家に帰りたくない気持ちには理解できる。しかし足場に乗って遊んでいて、怪我でもされたらこちらの責任。ましてや親の顔も家も知らない子供達。同じような環境におかれた子供同士が群れて、やり場のない気持ちや寂しさの傷を、舐めあっている

ような気がする。やがてこの子供が中学生になると、繁華街やゲームセンターなどを行くつづくのだろうか?まだお寺の境内で遊んでいる間は、ましのだろうか?監督責任重大だけれども、叱るべきところはきちんと叱って、人の道を外れないに注意をしよう。ところで『五体不満足』の著者乙武洋匡さんが、いいことを言っている。

「大人が『大丈夫』というストライクゾーンを広く構えてあげれば、子供達は自分に自信を持ち、伸び伸びと育つ」。乙武さん自身、三年間の小学校の教員生活を送った。最後の授業の日、受け持ちの四年生の生徒には内緒で、保護者にそれぞれの子供達宛に手紙を書いてもらった。四年生といえれば十歳、「二分の一の成人式」と題してその手紙を読んでもらった。子供達にとってはサプライズ!「自分が、親からこんなにも大事にされているとは、知らなかった!」と号泣したそうだ。冒頭に出てきた悪態をつく三人の子供達も、たとえ親がほったらかしで家庭崩壊していても、周囲の大人が「君達は大事な仏の子供。みんなの宝物だよ」というメッセージを伝え続けられ、少しは心を開いて素直になってくれるのではないだろうか?定年後学童保育所の先生をする知人が「教師

時代よりもずっと気苦労が多くて、世の中そんな甘くない」と言った。様々な家庭の事情を抱えた子供たちの心のストライクゾーンは、余程大きくないと受け止めることは出来ない。お寺がその一助になりたいと思う。

☆寄稿

四日市市 川崎 孝一

☆コーラスも 宗派を問わぬ

別院で 弓手に数珠の

「こんこんちゃん」も

☆蔓で文字 描かむと為も 朝顔は

横や丸みの 支柱に感う

四日市市 釈 妙水

☆立ち話 母の背中や 古日傘

☆母思う むらさき深き 茄子の花

☆思い出す 亡夫の笑顔や

さくらんぼ

☆ホットニュース

☆8月1日から31日まで1か月間、百

五銀行阿倉川支店ロビーで『善正寺門

徒展』開催!住職・坊守・長男の写真、

長男嫁の書、服部雅之氏の絵、服部香

苗氏の写真、堀野証嗣氏の茶碗など

興味のある方は是非ご覧下さい。

☆10/15(土)親鸞聖人750回遠

忌法要バス参拝、あと3人、空席があり

ますので、お早めにお申し込み下さい

住職、若院が揃って僧侶として出勤。

☆7/13ブログ愛読者の埼玉在

住・東京勤務の男性(65歳)訪問!

出張途中に立ち寄られました。知らな

い所で、仲間の輪が広がっています。

☆善正寺のホームページ。「三重 善正寺」で検索可。毎日更新の「住職と坊守のつれづれ日記」が好評。長男も若い感覚でブログ投稿。特にイタリア新婚旅行記は読み応えあり。開設3年で4万6千突破1日平均80アクセス!

☆住職と坊守の2冊目の共著本『鳥の眼・虫の眼・仏の眼』(自照社刊)好評発売中!挿絵は門徒の服部雅之氏)

♪三重組コーラス♪

☆練習は智積西勝寺様で午後1時半・

☆11/8(火)本山記念音楽祭

8月以降の練習予定は未定、決まり次第連絡します。

キッズサンガ・杉の子合唱団

☆8月6日(土)午後4時 友達を誘って来てね!夕方5時の鐘撞きは毎日。

☆カンパ有難う☆

小林ふきえ様・柴田美津代様・他匿名様よりお志・切手有難うございました。

お悔やみ申し上げます

★清水孝造様(6月19日亡・71歳・采女町) 合掌

★川元ヨシ子様(7月8日亡・91歳・小杉1丁目) 合掌

☆編集子より ☆

「善正寺だより」第二二二号をお届けします。◇早い梅雨明け以降、暑い夏がスタート。そして、節電の夏が!◇「耐え難きを耐え、忍び難きを忍び…」という玉音放送が流れた六十六年前の夏に思いを巡らす夏。皆様ご自愛を。合掌。

お金の季節になりました。今年は東北大震災で多くの
いのちが奪われ、被災地では今も尚、生命の危険に晒さ
れながら復旧作業に当たられています。家族の絆
地域の絆の復活が望まれたことは未だかつてありません。
人生の苦難は震災ばかりではありません。あるお婆ちゃんが
晩年とても辛い経験もされました。結婚後まもなく未
亡人、女手一つで家庭を守り、これからのんびりという矢先
の出来事。その時の言葉が忘れられませんが、「人間どん
底まで落ちれば後は這い上がるだけです。何と逞
しい言葉でしょう。世間の冷たい視線に耐え、逆境から
逃げることもなく、誠実につつましく生き抜かれ、最後は
あつけない旅立ちでした。私達は人生の先輩から
多くの生き様を学ぶことができます。お金を契
機にご先祖方が私に投げかけられた願いをしっかりと
受け取るのが大切です。私は「けい朝」でおひ
さま山を毎朝楽しみに見ています。番組で知った素
敵な詩を紹介します。心に太陽を持って、嵐が吹こうと
吹雪が来ようと、天には黒雲、地には争いが絶えな
かろうが、いつも心に太陽を持って、(略)唇に歌を持って、軽く
朗らかに、自分の務め、自分の暮らした、よそや苦勞が
絶えなからうと、いつも唇に歌を持って、(略)主人公陽子
のように、いつどこにいても、皆を明るく励まし、元気に
してくれるような人間になりたいものです。8月20・21日

日永代経(足利孝之師)ご参詣お待ら申し上げます
平成二十三年八月 合掌 善正寺坊守持